

第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと併せてご活用ください。

～景気の下降局面からの底入れを予測する民間シンクタンクの経済予測をまとめています。

2012/11/19 「民間調査機関の経済見通し（2012年11月）～当面景気は弱含みも、年明け以降は持ち直しへ～」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～日本経済再生には何が必要かを市場の視点から問い直しています。

2012/11/19 「円安期待の株価上昇の持続性～日銀にプレッシャーをかけるだけでなく、成長戦略が必要～」

掲載カテゴリ：梶峰義清の「マーケットウォッチング」

～消費税に比べ目立たない健康保険料率引き上げの影響にスポットをあてています。

2012/11/15 「『見えない負担増』が雇用・賃金を脅かす～賃金上昇の障害となる健康保険料率の引き上げ～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～日本の経済成長をつかむのに実質GDPはふさわしい指標か、をテーマに解説しています。

2012/11/9 「実質GDPでは実感できない景況感の理由～増えない名目GDP、GNI（国民総所得）を増やす政策が鍵～」

掲載カテゴリ：永濱利廣の「エコノミック・フォーカス」

～財政の崖に直面する米国、協調を模索する欧州、成長の基盤固めに取り組むアジアの今を伝えます。

2012/11/26 「米国 ねじれ議会継続で『財政の崖』の不透明感が強まる～部分的な減税の延長と失業保険の歳出カットでも成長率は大幅減速～」

2012/11/27 「欧州 3度目の正直でギリシャ支援再開を決定～IMFの支援再開、ギリシャ政局の閉門が残る～」

2012/11/15 「アジア（中国・インド・NIES・ASEAN5）経済見通し（2012年11月）～世界の『成長センター』であるアジアの景気は底入れ感を強める～」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」西濱徹の「アジア・新興諸国経済」

お詫びと訂正：

2012年11月号掲載の「日本経済～穀物価格高騰の影響～」において、輸入小麦の政府による売渡価格は「価格改定月の2ヶ月前から遡って6ヶ月間の政府の平均買付価格を基準として決まる。」が正当でした。お詫びし訂正いたします。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は第一生命経済研レポートをご愛顧いただき、ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



多くのエコノミストが、年明けのタイミングでの景気の底入れを予想しているが、景気が良いと言うには程遠い。先の選挙戦でも経済政策論争があり、その実現可能性が話題になった。十分に考え尽くされた政策ならば、たとえ実現が容易でなくとも、練られた手段で時間をかけて地道に推し進めてほしい。(H. U)